

新年明けましておめでとうございます。2007年が皆さんにとって良い年でありますように。今年も引き続き市民の会へのご支援を宜しくお願いします。

## 「友好の翼」福州市訪問で古い友人と再会

### ～那覇市・福州市姉妹都市締結25周年記念親善友好訪問団～

1981年に那覇市と中国福州市が友好都市の締結を交わしてから昨年で25周年を迎えました。これを記念して翁長雄志那覇市長を団長とし、福州部会長緑間さんをはじめ福州市とゆかりの深い久米崇聖会のみなさんなど総勢152人の那覇市「友好の翼」訪問団が2006年11月22日から25日までの4日間、福州市を訪れました。

福州市では、袁榮祥書記や鄭松岩市長をはじめとした市の幹部が勢ぞろいで那覇市の訪問団を迎え、「古くからの友人が再会できて嬉しい」という袁書記のコメントに、両市が600年に及ぶ歴史的な絆で結ばれていることを改めて感じる事ができました。

25周年祝賀会では閩劇「牡丹亭」や中国の歌舞で歓迎され、那覇市訪問団も答礼の気持ちをこめて琉球の伝統舞踊を披露しました。訪問中の全行程をとおして、遠来の古くからの友人を迎えた福州市民の温かい気持ちに触れ、沖縄と中国の歴史的、文化的な深いつながりをいまさらながら確認した旅となりました。これからも両市民が末永く、経済・文化・教育などのあらゆる分野でのさらなる交流を発展させていくことを誓い合った訪問になりました。



福州市での交流の様子。なんと福州市からはチャイナ服のプレゼントも

友好都市締結25周年記念碑の除幕式が行われました  
(閩江公園) →

↓福州市により修復され1980年に市の文化財に指定された「琉球人墓」を参拝し先人の霊を慰めました。



## 世界のウチナンチュ大会開催に併せ、那覇市の姉妹・友好都市を紹介

那覇市国際交流市民の会主催で、10月10日～13日の間、那覇市役所本庁1階ロビーで、那覇市の姉妹・友好都市を紹介する展示会を開催しました。

ブラジルの華やかなサンバの衣装、ハワイのフラの衣装やさまざまなレイ、中国福州市との児童生徒交流、川崎市との交流の歴史、宮崎日南市とのエイサー交流など那覇市役所を訪れる市民へ国際交流市民の会の活動をアピールしました。カラフルな衣装に目を引かれて立ち止まる方や興味深そうに写真を眺める方など、ロビーは大勢の市民で賑わいました。

準備して下さった部会の皆様、ありがとうございます。

### サンビセンテ部会



### ホノルル部会



### ホノルル部会&川崎部会



### 福州部会



### 日南部会



## 大盤鶏料理教室についての報告(那覇市国際交流員：魏如祥)

11月10日午後6時半から、  
ていりくの生活実習室で、私と中国新疆ウイグル族出身のアイさんと共に講師として、大盤鶏の教室を行った。

名前の通り大きなお皿に盛って出てくる新疆の代表的な料理。作り方もとても簡単で、鶏肉を油で揚げてから、材料をビールで煮込む。材料がたくさんあって、普通あまり見えないものもある、たと

えば香料としての八角。「食べられなくて調味料だけ」と聴いたら、みんなびっくりした。本場の大盤鶏はとても辛い、今回は日本人の好みに合わせて、辛さは加減したが、それでも辛いと感想した方も少なくない。それに、ちょっと油っこいけど、野菜サラダも用意したので、みんな楽しく食べていた。

大盤鶏は大人数の食事会にぴったりのお料理で、今回も参加者のみなさんはテーブルの周りに腰をかけて一緒に味わっていた、温かい雰囲気一杯だった。



## 美味しく楽しい「うちなー料理教室」

前回のニュースレターでお伝えした「うちなー料理教室」が11月17日にていりくで開催されました。今回のメニューはラフテー、豆腐チャンプルー、たんむの砂糖醤油絡め、クーブイリチー、そして菜飯。うちなー料理を習いたい、と那覇市と県の研修生達も参加して真剣な顔で包丁を握りました。長時間煮込んだラフテーはとろけるように柔らかく美味しく、菜飯はあっさりしただし



汁が美味しく、沢山作った料理はあっという間になくなりました。講師を務めてくださった宮里千里さん、そして参加して下さいました皆さんどうもありがとうございました。

←ご馳走を前に満面の笑み  
(県・那覇市の研修生達)

## 赤嶺美幸さん歓迎会



平成 18 年 11 月 2 日に海外移住那覇市出身者研修生の赤嶺美幸さんが、ブラジル那覇市民会の推薦を受け来覇しました。美幸さんは大学時代に建築デザインを専攻しており、今回はグラフィックデザイン等の研修を中心に行う予定です。また、教育現場での国際交流や施設見学などを通じて沖縄の皆さんとの交流も深めていく予定です。沖縄に来るのは今回で三度目、日本語も達者です。

11 月 7 日に開かれた歓迎会では、サンビセンテ部会の皆さんをはじめ大勢の方々が歓迎に訪れました。

## 行ってきました北部ツアー！

11 月 23 日に市民の会主催の「北部ツアー」が行なわれ、17 名の参加を頂きました。那覇市の研修生だけでなく県の研修生も 2 名参加し、バスの中では日本語、スペイン語とポルトガル語が飛び交いました。出発が遅れたり、行方不明者が出たり、みかん狩りがパイナップルパークへ変更とハプニング続出でしたが、和気あいあいと楽しい一日でした。一番好評だったのはオリオンビール工場の試飲コーナー。美ら海水族館の後はパイナップルパークへ。ここでも試食を楽しみ、帰りのバスの中では満腹と疲れも手伝って皆さんお休みモードでした。参加して下さった皆さん、ありがとうございました。



オリオンビールであり乾杯♪

## 海外移住那覇市出身研修生の送別会を開催

赤嶺 尚史さん（ペルー） 広告代理店の技術を活かしDVD 編集で研修報告



平成18年10月2日から日本料理の研修で2か月間、那覇市に滞在していた研修生赤嶺尚史さん(ペルー)の送別会が11月28日に開催されました。

ペルーで広告代理店を営んでいる赤嶺尚史さんは得意のパソコンで、研修先で出会

った方や親戚の方々へのお礼を込め、研修報告のDVDを編集して大型スクリーンで上映し、今後ペルーで日本食を広めたいと抱負を語りました。送別会には、沖縄ペルー協会、沖縄ブラジル協会、沖縄アルゼンチン友の会会員の皆さんも参加し、国際交流市民の会会長の伊藝助役からは「国際交流がさらに盛んになり、今後も絆を深める機会になった」と、感謝の言葉が述べられました。

赤嶺 美幸さん（ブラジル） うちなーのチムグクル、一生忘れません

平成18年11月2日より研修のため来覇していた赤嶺美幸さんが、約2ヶ月間の研修期間を満了し、12月20日に送別会が開催されました。

研修期間中は、広告・グラフィックデザインを中心に企業研修を重ねるとともに、教育現場での国際交流や、書道教室・うちなーぐち講座などに参加することにより周囲の皆さんと交流を深めてきました。その素直な性格と流暢な日本語のおかげで、たくさんの方々から可愛がられ、送別会には40名を越す皆様が激励に訪れてくださいました。美幸さんは「帰国後は、沖縄でのすばらしい思い出や文化を同じ2世・3世の皆さんに伝え、ブラジルと沖縄の架け橋として活躍していきたい」と抱負を語っていました。Ate' logo(またね)美幸(^^)!!



# Bom dia Sao Vicente!!!

## サンビセンテ市姉妹都市派遣報告会

姉妹都市交流派遣職員として、10月25日からサンビセンテ市に派遣されていた島田



聡子さん(環境部 環境政策課ゼロエミッション推進室)が2ヶ月間の派遣期間を終え帰国しました。

サンビセンテ市派遣報告会を開催しますので、会員の皆様、ぜひご参加ください。

**日時** 1月24日(水)午後6時30分

**場所** なは女性センター 第二学習室

那覇市銘苅2丁目3号1番

新都心銘苅庁舎1F(駐車場有)

TEL:951-3203 FAX:951-3204



**会費** 1,000円(軽食・飲物を準備いたします)

島田聡子さんのブログを紹介します。～2006サンビセンテ市派遣報告～

ブラジル・サンビセンテ便り サンバのリズムに乗せて♪



<http://satosamba.ti-da.net/>